

神谷 直亮

### 「2011 年国際航空宇宙展」

日本航空宇宙工業会が主催した「2011 年国際航空宇宙展」は、10月26日から28日まで東京ビッグサイトで開催された。今回は、特別展示コーナーが2ヶ所設けられ、一般の来場者も楽しめるような工夫が凝らしてあった。その1ヶ所では、昨年6月に7年ぶりに地球に帰還したはやぶさの2分の1スケールの模型が紹介された。このコーナーには、はやぶさの他に、将来の計画として期待が高まっているソーラー電力セイル探査機の10の1モデルが披露され注目を集めた。探査機は、母船とオービターから構成され、母船の直径は50m、オービターは10mに達する。重量については、650kgと説明していた。もう1ヶ所で脚光を浴びたのは、日本が初就航国となった最新型旅客機、ボーイング787の25分の1モデルである。特別展示とした意義については、主要構造の大部分に日本製の複合材が使用されているのと、製造の約35%に日本企業が関わっている点をあげていた。

一方、非常に残念だったのは、国際イベントにもかかわらず世界の大手航空宇宙企業はどれも出展していなかった。唯一、ブラジルのOrbital Engenharia社がブースを構えて、ブラジルと中国が共同開発したChina-Brazil Earth Resources Satellite (CBERS)を紹介していた。CBERS-1



特別展示コーナーに展示された「はやぶさ」の1/2モデル

は1999年、同2は2003年、同3は2009年にいずれも中国の長征ロケットで打ち上げられている。第4世代となるCBERS-4は現在製作中で、2012年に打ち上げ予定とのことであった。ブースの担当者によれば、「3号と4号衛星には、CCDカメラが4台、広域をカバーするイメージャーが1台、赤外線スキャナーが一台搭載されている」という。主な目的については、「穀物の生育状況のチェックや森林の管理など」と語っていた。

会場にブースを構えた136社・団体・大学の中で意外だったのは、在日米海軍が大きなブースを設置して、ボーイング社製無人機「ScanEagle」の4分の1モデルを紹介した。使用した実績は教えてもらえなかった、アフガニスタンやイラクで活躍したものと思われた。ブースの軍人に、撮影した映像を無人機から衛星を使ってリアルタイム伝送ができるのか聞いてみたら、回答は「No」であった。

### 「iEXPO 2011」

NECグループが主催した「iEXPO 2011」は、11月10日、11日に東京の国際フォーラムで開催された。会場には、「テーマステージ」、「宇宙技術」、「デジタルサイネージ・映像ソリューション」、「新しい街づくり」、「新しいライフスタイル」、「新しいビジネススタイル」、「ICT基盤」の7つのゾーンが設けられ、グループに属する



「iEXPO2011」のメインステージを飾った横長大画面と「触れる地球」(画面手前)

16社が、ソフト、機器、システム、ソリューションなど、150に及び展示やデモを行った。

入口の真正面に設置された「テーマステージ」では、200インチ・スクリーンをシームレスに3面並べた横長大画面を使って、プレゼンテーションが行われた。スクリーンへの投影には、NECディスプレイソリューションズが誇る高輝度DLPプロジェクター3台が使われた。プレゼンテーションのメインテーマは、「人と地球にやさしい情報社会へ」で、去る3月11日に発生した東日本大震災を踏まえNECグループとして考えた社会貢献の内容を、展示会場のレイアウトに沿って紹介していた。また、メインテーマの重要な視点として取り上げられた地球を、インタラクティブ地球儀の形で披露して注目的になった。この直径1.28m(地球の1000万分の1)のインタラクティブ地球儀には、「触れる地球」という愛着心に満ちた名前が付けられていた。

「宇宙技術」のゾーンには、小惑星探査機「はやぶさ」のフルサイズ・モデル、機体の中枢コンポーネントであるイオンエンジン、「ネクスター」と名付けられたNECの標準小型衛星のモデルが展示された。フルサイズ・モデルは、東映が「はやぶさ——遥かなる帰還」(2012年2月11日ロードショー)の撮影用に製作したものである。一方のイオンエンジンは、松竹が「おかえり、はやぶさ」の撮影に使用した実物で、同社から貸与されたものと説明していた。この3Dで制作された松竹の映画は、2012年3月10日にロードショーの予定である。会場では、2本の映画のダイジェスト版も上映され、硬くなりがちな展示会に柔らかな空気を漂わせていた。

「ネクスター」については、今回、合成開口レーダ(SAR)を搭載した小型モデルが披露された。説明員によれば、「SAR搭



東映が「はやぶさー遙かなる帰還」の撮影に使用した「はやぶさ」のモデル

載のネクスターは、目下 ODA を使ってベトナムに売り込むべく交渉中」とのことであった。さらに、「ASNARO と呼ばれる SAR の代わりに光学センサーを搭載した衛星を、国内の無人宇宙実験システム研究開発機構向けに製作中」と付け加えていた。

「宇宙技術」ゾーンのもう一つのアトラクションは、1970 年台の「おおすみ」から 2010 年に打ち上げられた「イカロス」まで、50 機を超える NEC 製衛星を紹介するテーブル式タッチパネルディスプレイであった。衛星の年表がパネル上に流れ、目的の衛星にタッチすると打ち上げ年や技術仕様が表示された。画面を拡大したり見やすい方向に転回したりして楽しむこともできた。

「デジタルサイネージ・映像ソリューション」ゾーンの入口を飾ったのは、高輝度フルカラー LED ディスプレイである。説明員によれば、「今回展示したのは、12 面 (3 x 4) 構成の屋内用と 8 面をテロップ表示にした屋外用の 2 種。屋内用は、3-in-1 SMD タイプ (1 つのランプに RGB3 色の素子を組み込んだタイプ) の LED を使用している。一方の屋外用には、RGB タイプ (それぞれ独立した RGB3 色ランプを用い、3 色で画素を構成するタイプ) の LED が使われている」という。画素ピッチと画面輝度も異なり、屋内用は 6.25mm ピッチで 2000cd/m<sup>2</sup>、屋外用は 15.625mm



8 面をテロップ表示にした屋外用 LED ディスプレイ (左) と 12 面構成の屋内用ディスプレイ (右)

ピッチで 7500cd/m<sup>2</sup> とのことであった。ゾーン内部では、2012 年 2 月に出荷開始予定という LED 光源、フル HD リアル表示を誇る 60 型ワイド DLP 方式マルチビジョンを中心に据えた展示とデモが行われた。説明員は、「大規模な監視や業務に必要とされる超大型映像機器として売り込むために、最大 96 台まで接続が可能なシステムにした」と意気込んでいたが、会場では場所の制約で 4 面構成のスケールダウンしたデモに留まっていた。特色はなんと言っても目地幅が 2mm しかない一体感で、アスペクト比 16:9、表示画素数は 1920 x 1080、輝度はブライトモードで 530cd/m<sup>2</sup> とのことであった。

一方、家庭を対象にした製品としては、「見たい映像を手軽に、色鮮やかに」をキーワードに掲げて LED プロジェクター「ViewLight NP-L50WJD」を訴求していた。電源内蔵で 1.2kg の軽量・薄型フォルムに仕上がっており、新開発の LED 光源で 500 ルーメンの明るさを実現している。価格については、60 型 (スクリーンサイズ 129.1 x 80.8cm) で 8 万円と述べていた。

変わった展示・デモとしては、「Twitter Theater」と「PaPeRo」があげられる。「Twitter Theater」は、イトーキと共同で開発したというツイッター対応リアルタイム検索表示アプリケーションである。パソコン、携帯電話、スマートフォンなどから発信されたツイッター上のツイートを、キーワードで任意検索ができ、



2012 年 2 月に発売予定の 60 型 DLP マルチビジョン (4 面構成)

かつタイムライン画面表示を実現する。デモでは、ツイッターのタイムラインを、浮き雲の中に表示するデザインにして見せていた。

「PaPeRo」は、NEC が開発したコミュニケーション・ロボットで、ステレオカメラ、タッチセンサー、超音波センサーなどを駆使しているいろいろなことができる。デモでは、レストランに来店した人の性別や年齢を判断して、お勧めのメニューを紹介していた。

「新しい街づくり」のゾーンでは、エネルギー対策、災害対策、パブリックセーフティ、便利快適の 4 つの観点から 35 項目の展示が行われた。中でも人だけが見られたのは、C&C クラウドと急速充電器を活用する「スマート充電ステーション」のコーナーであった。ブースには、オートモーティブエナジーサプライ (NEC と日産の合併会社) が開発したラミネート型リチウムイオン・バッテリーを搭載した日産リーフが持ち込まれ、EV 充電インフラサービスを広域でスマートに展開する大構想を PR していた。

Naoakira Kamiya  
衛星システム総研 代表  
メディア・ジャーナリスト

**SWE DISH**

ニッサン新エルグランド 4WD  
5名定員  
1.2m 径・自動捕捉アンテナ搭載  
車高 2.2m 以下 (地下駐車場可)  
3.6 KVA NMG アイドリング運用  
水圧エコ・ポール 4m 搭載  
強化サスペンション  
国内 (100V) 海外 (240V) 対応  
IPコントロール  
ハイビジョン映像伝送  
運転席からワンマンオペレーション

**SMART SNG**  
HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizsat.jp>

設計・製造・衛星通信のことなら  
エーティコミュニケーションズ株式会社  
TEL: 03-5772-9125

**A Communications k.k.**